

こくたか 連携だより

2022年発行
第184号
5月号

新任挨拶 2

事務部長 石橋 文和

診療科紹介 リハビリテーション科 3

リハビリテーション科 荻原 博

総合診療科・内科 4

総合診療科内科部長 佐藤 正通

第22回地域連携症例検討会 5

乳腺内分泌外科部長 高他 大輔

内分泌代謝内科部長 渋谷 信行

皮膚・排泄ケア認定看護師の活動 6

皮膚・排泄ケア認定看護師 細谷 晃子

がん診療連携拠点病院講演会 7

緩和ケア認定看護師 丸山 広貴

栄養だより 8

臨床検査科だより 9

医師紹介コーナー 10

地域医療連携登録医のご紹介 11

セカンドオピニオンのご案内 12~13

外来診療担当表 14~15

院長閑話/行事などのお知らせ 16

群馬の森の
つつじ

撮影：患者サポートセンター 下道 弥生

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36

代表 (TEL) 027-322-5901

URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)

(TEL) 027-322-5835

(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

新任挨拶

事務部長 石橋 文和



4月1日付で東京都立川市にあります災害医療センターから異動してまいりました石橋と申します。どうぞ宜しくお願い致します。今回の異動で14ヶ所目の勤務場所となりました。群馬県での勤務は初めてですが、若かりし頃関越道を走り、尾瀬岩倉、片品、苗場、万座、水上等々のスキー場へ週末に仲間と良く通った事を思い出します。「私をスキーに連れてって」に憧れて、スタッドレスタイヤを履きキャリアを付けていざゲレンデへ、映画の主人公のようにカッコよくは滑れませんでした。自然、温泉、宴会と楽しい思い出が一杯です。当院のスキーツアーに参加した事もありました。昔話はこの辺に、当院の話をいたします。

当院では、「患者さんから信頼される病院を目指します」を基本理念に掲げ日々病院運営を行っています。現在はコロナ診療と一般診療両方の対応で厳しい面はありますが、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、地域災害拠点病院と当院のそれぞれの特色を活かし、地域医療機関の皆様、行政機関等としっかりと連携させて頂き、より一層地域医療に貢献出来るよう職員一丸となって努力してまいります。安定した経営基盤を築き、継続的に地域の皆様へ医療が提供出来るように、微力ながら努力して参りますので、皆様のご指導とご協力をお願い致します。



リハビリテーション科の 紹介

リハビリテーション科 荻原 博

当院リハビリテーション科は、医師2名、理学療法士（PT）12名、作業療法士（OT）8名、言語聴覚士（ST）4名 計26名により構成されています。

リハビリテーション科では、様々な病状に対して早期介入・早期回復を目指し治療介入します。一般の方にとってリハビリは怪我や身体障害に対するものとイメージしがちですが、特に当院のような高度急性期病院ではリハの活動は多岐にわたります。運動リハ、廃用リハ、脳血管リハに加え、近年では呼吸器リハ・癌リハ・心臓リハなどの領域も普及し当院も多様化・高度専門化に対応して参りました。また、救急患者や手術直後患者への早期リハビリにも力を入れ、入院期間短縮に貢献しております。2020年3月より当院では『患者サポートセンター』を開設し予定入院の患者に対して入院前からの栄養・運動・口腔介入を行っておりますが、リハビリ科では術前呼吸訓練や活動量計を用いた運動指導のかたちで早期改善に寄与しております。この5月からは、入院前のリハビリ科医師診察・処方・指導も加わり、更にパワーアップします。

ただし、病状によってはリハビリには長時間を要することもあり、急性期病院で出来ることは限定的です。医療圏内外の各種医療機関さんや社会福祉施設さんとの紹介・連携あってこそそのリハビリテーション。当院リハビリテーション科への、皆様の益々のご協力・ご鞭撻を切にお願い申し上げます。



総合診療科・内科の紹介



内科系診療部長 総合診療科・内科部長 佐藤 正通

高崎総合医療センター（旧高崎病院）に総合診療科が設置されてから、既に15年以上の月日が流れました。開設当初より患者紹介・逆紹介を通じまして、地域医療支援を実践して参りました。関係した多くの地域医療機関並びに先生方へ感謝の意をここに示させていただきます。

高崎病院から高崎総合医療センターへの変遷に伴い、院内では専門診療科は増加の一途を辿り、また、各診療科におきましても診療機能の充実と強化がなされて参りました。救急および急性期医療を地域での役割と捉え、高崎・安中地域そして群馬県下において発生する診療ニーズを的確にかつ迅速に捉えることが当院にあっては肝要と感じております。開設当初の総合診療科は、診療科としての医療における立ち位置やその存在の目的などは、とても未熟な状態であり、「一体どんな患者さんを紹介すればいいのか」と苦慮された地域の先生も多かったことと思います。現在の総合診療は専門医基本領域に位置を占め、決して多くはございませんが、毎年、初期臨床研修を終えた医師の選択により、専攻医（後期研修）として、総合診療の研鑽に励むようになっています。また、基本領域専門医履修後にあっては、家庭医や病院総合診療医などの専門的診療に、医師の希望に応じてさらなる総合診療研鑽の分野が用意されており、いずれにあっては基本的には「多様な診療現場にあって、地域医療を担い得る医師」といった目標が設定されているものと理解しております。

高崎総合医療センター総合診療科・内科では、当初より地域医療連携の実践を以って、地域医療支援を充足する目的で診療展開を進めております。「専門診療域の如何を問わず、すぐ診てほしい方を紹介頂く」、といったシンプルな紹介をイメージ頂き、地域の先生方にあっては、当院当科へご紹介頂ければ幸いです。それは、一つの症候、一つの検査異常でも構いません。医療機関に来られた患者さんのニーズ、患者さんを診療される先生方のニーズに応じて、対応できる医師が、高崎総合医療センター総合診療科・内科の医師であるよう、日頃から尽力しております。

当科での精査によって明らかとなった病態もしくは、疾患群をここに示します。

- 高齢者において、複数の疾患や状態の変化がみられた患者
- ウイルス感染症および細菌感染症（臓器を問いません。必要とあれば専門領域医師と共に対応させていただきます）
- リウマチ、膠原病、血管炎等の全身性炎症疾患
- 身体のどこにでも生じ得る悪性リンパ腫、造血器障害・疾患
- 内分泌・代謝疾患
- 診断困難事例



第22回 地域連携症例検討会

甲状腺・副甲状腺疾患による 内分泌緊急性の症例



乳腺内分泌外科部長
高他 大輔



内分泌代謝内科部長
渋沢 信行

第22回地域連携症例検討会では、内分泌・代謝内科と乳腺内分泌外科との共同発表で、内分泌疾患の診断と治療の連携をテーマに、「甲状腺・副甲状腺疾患による内分泌緊急性の症例」の提示をさせていただきました。多数の先生方にご参加いただき誠にありがとうございました。

地域の登録医の先生方から、日頃より多様な症状を抱えた内分泌疾患の患者さんをご紹介頂いています。その中でも我々の科で経験した緊急的な対応が必要な3つの疾患について、今回検討しました。

① 甲状腺中毒症と甲状腺クリーゼ

発熱、頻脈、中枢神経症状、心不全症状、消化器症状の有無に注意してください。クリーゼの誘因の一つとしてバセドウ病に対する抗甲状腺薬内服の中断があります。定期検査の重要性を患者さんによくご理解頂き、内服治療を中断無く継続いただくことが肝要です。

② 甲状腺腫瘍による緊急症

緊急手術によって救命することが出来た症例を提示いたしました。甲状腺腫瘍を持つ患者さんは潜在的なものも含めると非常に多くいらっしゃいます。普段の診療のなかでは、胸部レントゲンで上縦郭の陰影、気管の偏位に留意して頂くこと、呼吸苦を訴える症例や、もしエコーで確認できれば、縦郭内に進展する腫瘍、増大傾向を認める充実性腫瘍の症例は要注意です。是非お早めに御紹介下さい。

③ 高カルシウム血症（高Ca血症クリーゼ）、副甲状腺機能亢進症

食欲不振、易疲労感、便秘など症状がでます。尿管結石や骨粗鬆症の原因の一つでもあります。電解質の検査にAlbとCa測定もお願いします。脱水、腎機能障害に注意し十分な水分摂取を指示してください。カルシウム過剰血状態が急激に悪化すると、急性の意識障害と腎機能障害を呈し生命の危険を伴う場合もあります。疑わしい症例があれば、原因精査、治療目的に是非ご紹介ください。
今回提示させて頂きました症例は、いずれも内科と外科が緊密に連携をとることにより安全に治療を完遂する事ができました。いずれの科にご紹介、受診いただきましても正確に診断し、的確な治療が行えるよう引き続き努めて参ります。

本検討会はコロナ禍のため昨今はwebでの開催が続いております。地域連携の先生方とは直接お会いしてこのような検討を重ねることにより、より安心して過ごせる医療圏が築ければと願っております。

今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

皮膚・排泄ケア認定看護師 の活動



皮膚・排泄ケア認定看護師 細谷 晃子

認定看護師とは、特定の看護分野における熟練した看護技術及び知識を用いて、あらゆる場で看護を必要とする対象に、水準の高い看護実践のできる看護師のことをいいます。現在21分野ありますが、皮膚・排泄ケア認定看護師は、褥瘡（床ずれ）などの創傷管理、ストーマ（人工肛門・人工膀胱）や失禁等の排泄管理を専門にしている看護師です。当院では、今年4月より2名に増員され日々協力しながら活動しています。

創傷管理では、褥瘡ケアを中心に、医療用テープによる皮膚障害やドレーン等の治療に伴う皮膚障害、下肢潰瘍や外傷等、様々な創傷に対してケアを行っています。毎月第1・3金曜日に実施している褥瘡回診では、皮膚科医師・外科医師・管理栄養士・理学療法士・薬剤師・皮膚・排泄ケア認定看護師等の多職種でチームを組み、褥瘡の早期治癒を目指し、患者カンファレンスや診療計画の見直し、当該部署のスタッフへアドバイスをしています。

褥瘡管理で最も重要なことは発生させないことです。寝たきり状態や低栄養状態、浮腫などにより皮膚がもろくなっている患者さんも多く、予防ケアとして、マットレスの選択や体位変換、スキンケアなどのケアが大切です。

ストーマケアでは、手術前から退院後まで継続して支援するためにストーマ外来を開設しています。手術前には、ストーマ造設後の生活がイメージでき、ストーマを受容した上で手術に臨めるよう支援し、手術後も早期にセルフケアが習得できるように、病棟看護師と連携し、装具の選択や患者さんへの指導を行っています。退院後は、合併症の予防と早期発見、トラブル発生時のケアはもちろんのこと、その人らしく生活できるよう定期的にフォローしています。

これから、高齢社会となり、尿失禁や便失禁のある患者さんも多く、失禁による皮膚障害の予防や早期改善のためのケアが必要となります。

スキンケアや排泄ケアは看護の基本であり、患者さんの生活の質に大きくかわるものです。私は、皮膚・排泄ケア認定看護師として、対象となる人々が抱えている問題に対して、患者さんやご家族の思いを大切にしながら適切な皮膚ケアや排泄管理を行い、その人らしい生活ができるよう支援していきたいと思います。



令和3年度 がん診療連携拠点病院講演会

北7階病棟 緩和ケア認定看護師

丸山 広貴

令和4年3月10日にがん診療連携拠点病院講演会を開催しました。院内で医療用麻薬の取り扱いに不安を抱いているスタッフも多いことから、テーマは「医療用麻薬の適正使用と適正管理」にしました。講演会では、普段あまり目にしない“麻薬及び向精神薬取締法の概要”や“麻薬管理マニュアルについての内容”、“複数ある医療用麻薬のそれぞれの特徴”などを伝えました。看護師はもちろんのこと、薬剤師など他職種からも多数の参加がありました。

“麻薬”という言葉から、どんな印象を抱きますか？「精神的におかしくなる」、「寿命を縮めてしまう」、「一度はじめたら止められない、中毒になってしまう」などイメージを持たれる方もいると思いますが、正しい使い方をしていれば、これらのことは起こりません。

なぜなら、普段耳にする“麻薬”と違い医療用に作られている医療用麻薬は、法律のもと安全に使用できるように使い方や管理の方法が決められているからです。正しい管理方法、正しい使用方法を理解した上で使用することが重要です。

医療用麻薬の効果ですが、主にがんによる強い痛みに対して使用されることが多い薬です。強い痛みがあると、眠れなかったり、動く気力が無くなったりと身体の辛さが増すと同時に、気持ちも落ち込みやすくなるなど、さまざまな影響が出てきます。

ある事例をお話しします。強い痛みでトイレに行くのも大変で、「こんなじゃ、もう死にたい」とひどく落ち込んでいる患者さんがいました。医療用麻薬の使用を提案しましたが、「麻薬だろ？頭がおかしくなっちゃうよ。」と誤解がある様子でした。医療用麻薬の正しい情報を説明した上で使用してもらいました。すると、数日後にはトイレまで歩けるようになり、「なんでもっと早く使わなかったのだろう。」と笑顔が見られるようになりました。当然ながら、医療用麻薬にも吐気や便秘、眠気等の副作用がありますが、正しく使用できればこのような良い効果も得られます。

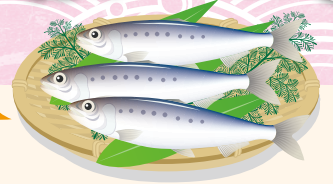
医療用麻薬は強い鎮痛作用がある反面、正しく使用しないと重大な副作用も生じてしまいます。私たち医療者は、そのことを十分に理解した上で患者さんに対応していきたいと思います。また、医療用麻薬を使用する患者さん等におかれましては、医療者の説明を良く聞き、正しい飲み方、使い方をして頂ければと思います。



栄養だより

入梅いわし

梅雨入りの
時期が旬!



もうそろそろ梅雨入りの時期ですね。

この時期に旬を迎える「入梅(にゅうばい)いわし」をご存じですか？

入梅いわしとは、梅雨入りの時期に捕れる大振りの真いわしのことで、産卵前であるため丸々と太り、一年でもっとも脂のりがいいのが特徴です。

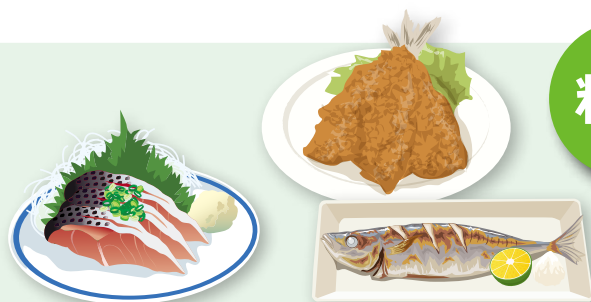
魚の脂には、脳の神経組織に多く含まれるDHAや血液をサラサラにする効果のあるEPAが豊富に含まれていますので、生活習慣病が気になる子どもからお年寄りまで幅広い世代におすすめです。そんな旬のいわしについてご紹介します。

栄養



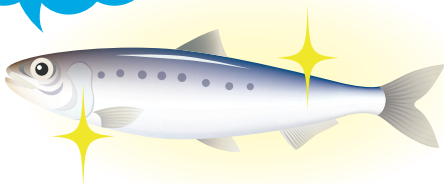
人間の活動に必要な各種ビタミンやカルシウム等のミネラルを豊富に含む魚です。カルシウムの吸収率をアップさせるビタミンDも含んでいるため、カルシウムを効率よく摂取できます。また、脂肪に含まれる不飽和脂肪酸は、血中コレステロールを低下させる機能を持ち、その一種であるEPA（エイコサペンタエン酸）は心筋梗塞、脳梗塞など成人病を予防する効果が期待されています。いわし類の脂肪は、このEPAを他の魚よりもかなり多く含んでいます。また、血圧を正常に保ち、脳出血などの予防効果が認められているタウリンを含んでいます。このように、いわし類は栄養的に優れ、健康維持に役立つ魚です。

幼魚は煮干し、稚魚はちりめんじゃこ、成魚は刺身、塩焼き、煮付け、揚げ物、汁物といろいろな料理法があるいわしですが、鮮度のよいものは刺身で食べるのが一番美味しく食べられます。



料理

選び方のポイント



鮮度が落ちやすいいわしで注目したいのは**目の色**です。鮮度が落ちるほど赤く変色していきます。次に見るのは**うろこ**です。いわしのうろこは剥げやすいので、うろこが残っていることが間接的に水揚げから間もない証拠です。また、頭が小さく身がふっくらと張りのあるいわしのほうが脂のりもよく美味しいと言われています。

遺伝子には私たちの体を作り、保つために必要な情報が含まれています。がんは遺伝子に生じた変異が原因で起こる病気です。がんゲノム医療では主にがんの組織を使って多数の遺伝子を同時に調べるがん遺伝子パネル検査によって、一人一人の遺伝子の変化や遺伝子変異を解析し、がんの性質を明らかにしたり、体質や病状に合わせた治療などが行われています。



がん遺伝子パネル検査は生検や手術などで採取されたがんの組織を用いて、高速で大量のゲノムの情報を読み取る「次世代シーケンサー」という解析装置で、一度の検査で多数の遺伝子を同時に調べます。遺伝子変異が見つかり、効果が期待できる薬がある場合には、臨床試験などでその薬の使用を検討します。効果が期待できる薬がない場合や遺伝子変異が見つからない場合には他の治療を検討します。(図1)

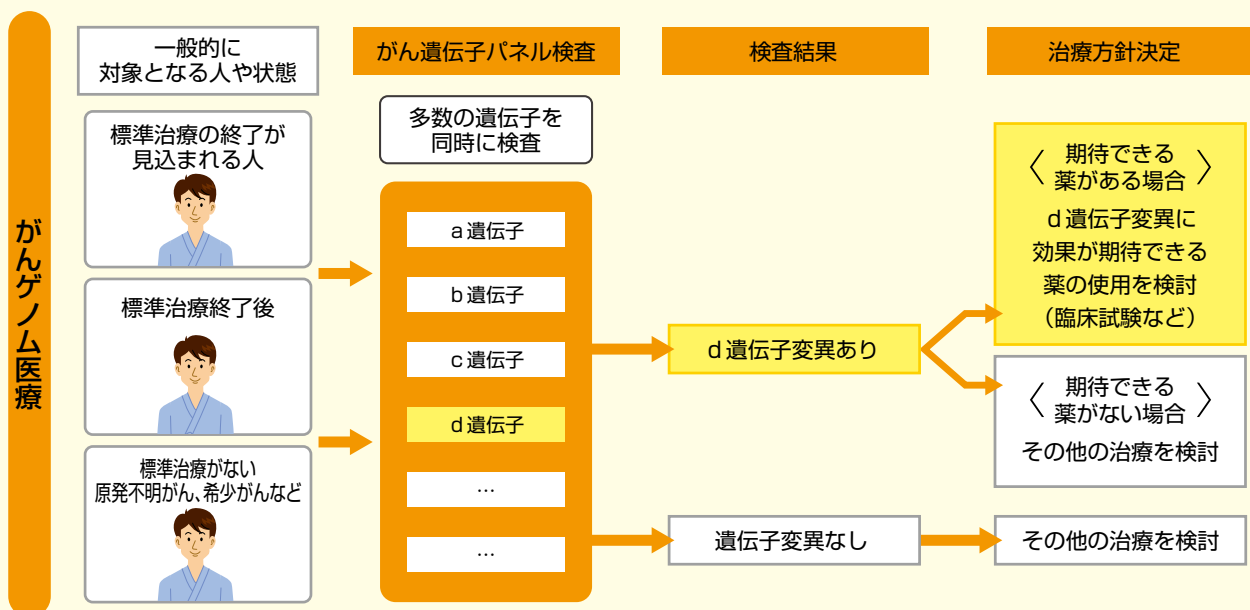


図1 がんゲノム医療の流れ

このがん遺伝子パネル検査の対象となるのは次の条件を満たす場合に限られます。

- ① 標準治療がない固形がん患者
- ② 局所進行もしくは転移が認められ標準治療が終了となった固形がん患者(終了が見込まれる者を含む)
- ③ 全身状態及び臓器状態等から、結果判明後に化学療法の適応と高い可能性があると主治医が判断した方。

がん遺伝子パネル検査を行い遺伝子変異が見つかり適応する薬があれば臨床試験などでその薬の使用を検討できます。また、新たな治療法の開発につながる可能性があります。しかし検査を行っても遺伝子変異が見つからない場合や遺伝子変異が見つかったとしても使用できる薬が見つからない場合もあり、がんパネル検査を受けて治療に合う薬の使用に結び付く人は全体の10%程度といわれています。検査を受ける前にはメリットとデメリットを主治医と検討し、よく理解することが必要です。

医師紹介 コーナー

当センターの
医師を
紹介します!



はじめまして。今年度より高崎総合医療センター消化器内科で勤務させていただいております古澤愛と申します。獨協医科大学を卒業後、高崎総合医療センターにて2年間の初期臨床研修を行い、3年目からも引き続き当院で消化器内科医師として勤務しております。

県外の大学に進学したため地元群馬県での生活は久しぶりになります。婦恋村出身ですので高崎地域での生活は初めてでしたがようやく慣れてきたところです。研修医から専攻医になりまだ1ヶ月弱ですが、日々の業務の多忙さを実感しながらも充実した毎日を送らせていただいています。当院は地域唯一の三次医療機関でありよくある病気から重症な方、難病の方など多くの患者さんがいらっしゃいますので、まだまだ未熟ではありますが上級医の先生方の力を借りながらそういった方々を一生懸命診させていただき、少しでも患者さんの力になればと思っています。

至らぬ点も多いとは思いますが精一杯努力して参りますので、これからどうぞよろしくお願い致します。



●消化器内科

ふるさわ あい
古澤 愛

はじめまして、令和4年4月1日より高崎総合医療センター心臓血管内科で勤務することになりました高橋洋右と申します。高崎市出身で福島県立医科大学の卒業した後、高崎総合医療センターで2年間の初期研修を行いました。雰囲気がよく働きやすい病院であり、またお世話になった地元の方へ恩返しができたらと思い、3年目もこの病院に残ることを希望しました。

仕事でのモットーは、患者さんの訴えをよく聞き患者さんに寄り添った医療を提供することです。今後は高崎地域の先生方とも連携し患者さんと信頼関係を築き、努力していきたいと思っています。まだまだ経験も少なく、皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが一生懸命働かせていただきますので、何卒よろしくお願いいたします。



●心臓血管内科

たかはし ようすけ
高橋 洋右

地域医療連携登録医 のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまと
パートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

斎川産婦人科医院

院長あいさつ

お産を中心に地域医療に貢献出来る様、取り組んで
いく所存です。宜しくお願いいたします。



斎川産婦人科医院
院長
斎川 俊一
斎川 雄弘



診療科・病院案内

産婦人科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:30)	●	●	●	●	●	●	△
午後(14:00~18:00)	●	●	●	●	●	●	△

群馬県高崎市岩押町31-10 TEL:027-327-0462

開院50年来、小さいけれど家庭的なあたたかみのある産婦人科を
目標に診療を行っております

香内医院

院長あいさつ

少しでも患者さまやご家族の力になりたいと考え、
“ハートフルケア”を医院の合言葉に掲げ、診療を行なっ
ております。通院診療はもちろん、通所リハビリや精
神科デイケア、訪問看護など、さまざまな方法から、
あなたに合った治療法と一緒に探していきましょう。



香内医院
院長
香内 信明



診療科・病院案内

精神科・循環器科・内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:00)	●	●	●	●	●	●	△
午後(14:00~18:00)	●	●	▲	▲	●	△	△

▲：水曜・木曜午後は15:00~18:00

群馬県富岡市七日市555-1 TEL:0274-62-3210

私たちスタッフは、少しでも利用者さん、そして家族の力になれば
と思い、日々努めています。また通所を利用している時間を共に過ごし、
出来る限り満足いただけるサービスを提供できることを目指しています。

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を
実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。



対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

実施診療科

【各科の専門医が対応いたします】

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、小児科、外科
乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科
泌尿器科、眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は 月曜～金曜 8時30分～12時迄 となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し
当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

30分以内 5,500円(消費税込み)

30分以上 11,000円(消費税込み)

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科 名	医師名	専 門	曜 日
内 科	佐 藤 正 通	内科全般、血液内科	火
精 神 科	井 田 逸 朗	がんのメンタルヘルス	木
呼 吸 器 内 科	中 川 純 一	呼吸器全般	火、金
消 化 器 内 科	長 沼 篤	消化器病一般、肝臓病	随時
	増 田 智 之	食道、胃、大腸	
心 臓 血 管 内 科	広 井 知 歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
	太 田 昌 樹	不整脈一般	水
	福 田 延 昭	心不全、弁膜症	木
小 児 科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外 科	坂 元 一 郎	消化器外科全般	水
乳 腺・内 分 泌 外 科	鯉 淵 幸 生	乳がん全般・甲状腺外科	第1・3・5週 金（午前）
	高 他 大 輔	乳がん全般・甲状腺外科	随時
心 臓 血 管 外 科	小 谷 野 哲 也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼 吸 器 外 科	伊 部 崇 史	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木
	高 坂 貴 行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	火
脳 神 経 外 科	田 中 志 岳	脳腫瘍	月
	笹 口 修 男	水頭症、脳外科一般	木
	佐 藤 晃 之	血管障害	金
産 婦 人 科	伊 藤 郁 朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌 尿 器 科	井 上 雅 晴	泌尿器科全般	火
眼 科	土 屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放 射 線 診 断 科	根 岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐 藤 洋 一	画像診断CT・MR中心	火
放 射 線 治 療 科	永 島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯 科 口 腔 外 科	稲 川 元 明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	薬 師 寺 孝	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通 飯塚 堯	佐藤 正通 植原 大介	木村 彰仁 (真下 大和)	佐藤 正通 飯塚 堯 (合田 史)	佐藤 正通 木村 彰仁
栄養食事指導外来		佐藤 正通			
内分泌代謝内科	渋沢 信行	新井 茉莉 (植原 良太)	植原 正也 新井 茉莉	渋沢 信行	渋沢 信行 植原 正也
神経内科	(池田 雅美) 平柳 公利	平柳 公利	菊池 雄太郎 平柳 公利	丸山 琴音 (古田 夏海)	清水 一輝
呼吸器内科	中川 純一 神山 花凛	細野 達也 内田 恵	田口 浩平 黒岩 裕也	中川 純一 板井 美紀	細野 達也 内田 恵
消化器内科	長沼 篤 安岡 秀敏 上原 早苗 都丸 翔太 (石原 弘)	星野 崇 鈴木 悠平 佐野 希望 都丸 翔太	柿崎 暁 安岡 秀敏 増田 智之 成清 弘明 (石原 弘)	長沼 篤 増田 智之 鈴木 悠平 (工藤 智洋)	星野 崇 佐野 希望 鍋木 琢也 古澤 愛望 古市 望 (岡野 祐大)
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 成清	安岡 / 増田 / 鍋木	上原 / 佐野 / 都丸	上原 / 佐野 / 都丸	長沼 / 鈴木 / 岡野
心臓血管内科 (循環器)	太田 昌樹 村田 智行 大駒 直也	小林 洋明 高橋 伸弥 (金澤 紀雄)	広井 知歳 太田 昌樹 羽鳥 直樹	福田 延昭 高橋 洋右 千古良 彩花 (金澤 紀雄)	太田 昌樹 小林 紘生 柴田 悟
新患外来 (午前)	高橋 伸弥	柴田 悟	村田 智行	羽鳥 直樹	小林 洋明
精神科	井田 逸朗 山崎 雄高	井田 逸朗 山崎 雄高	井田 逸朗 山崎 雄高	井田 逸朗 山崎 雄高	井田 逸朗 山崎 雄高
小児科	五十嵐 恒雄 内田 亨 御任 紫野 (荒川 篤康)	五十嵐 恒雄 倉田 加奈子 坂本 康大 (神尾 綾乃)	五十嵐 恒雄 倉田 加奈子 佐藤 幸一郎 (滝沢 琢己)	倉田 加奈子 植原 実紅 柴塚 拓巳 (西澤 拓哉)	五十嵐 恒雄 佐藤 幸一郎 永井 裕介 (浅見 雄司)
小児外科		(西明・高澤慎也)	(西明・高澤慎也)		
外科 (消化器)	坂元 一郎 田中 成岳	小川 哲史 星野 万里江	岡田 幸士 生方 泰成	平井 圭太郎 午久保 陸生	宮前 洋平 井田 晃頌
栄養サポート外来		小川 哲史			
禁煙外来					
ストーマ外来			第2, 4週午後・予約	予約	

1 外来診療受付時間

8:30～11:00迄 (予約の場合は最終予約時間まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでいるお薬をご持参ください。

2 休診日

土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。



地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通した
事前予約にご協力下さい。

	月	火	水	木	金
泌尿器科	井上雅晴 栗原聰太 午前	栗原聰太 柴田康博 午前	交代制	柴田康博 井上雅晴 午前	交代制
疼痛緩和内科	田中俊行 鯉淵幸生 午前	田中俊行 鯉淵幸生 午前	田中俊行 鯉淵幸生 午前	田中俊行 (荻野美里) 第2, 4週午後	田中俊行 高他大輔 午前
乳腺・内分泌外科	徳田尚子 成澤瑛理子 午前	高他大輔 徳田尚子 午前	高他大輔 徳田尚子 午前	(中澤祐子) 交代制 第1, 3, 5週午後 午前・予約	徳田尚子 成澤瑛理子 第1, 3, 5週午前 第2, 4週午前
心臓血管外科	<手術日>	交代制 午後	<手術日>	小谷野哲也 羽鳥恭平 午前	茂原淳 午前
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>
整形外科	荒 毅 信太晃祐 遠藤史隆	大澤敏久 齋藤健一 加地卓万	荒 毅 信太晃祐 一ノ瀬 剛 加地卓万	新井 厚 遠藤史隆 <手術日>	大澤敏久 齋藤健一 一ノ瀬 剛
形成外科	<手術日>	中村英玄	中村英玄	中村英玄	交代制
脳神経外科	田中志岳 (井上千鶴) 午前	栗原秀行 上原顕仁 午前	<手術日> 上原顕仁 午前	笹口修男 上原顕仁 午前	佐藤晃之 上原顕仁 午前
皮膚科		(茂木精一郎) 第2, 4週午前	西尾麻由 午前	西尾麻由 午前	西尾麻由 午前
産婦人科	伊藤郁朗 黒住未央 東 杏莉	青木 宏 黒住未央 大枝涼平	<産後健診>	(金井眞理) 交代制 午前	伊藤郁朗 青木 宏 東 杏莉
眼科	土屋 明 紹介・予約	土屋 明	土屋 明	土屋 明	土屋 明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史 午前
放射線治療科	永島 潤 紹介・予約	永島 潤 紹介・予約	永島 潤 紹介・予約	永島 潤 紹介・予約	永島 潤 紹介・予約
	大高 建 紹介・予約	大高 建 紹介・予約	大高 建 紹介・予約	大高 建 紹介・予約	大高 建 紹介・予約
歯科口腔外科	柴野正康 紹介・予約	<手術日>	薬師寺 孝 紹介・予約	薬師寺 孝 紹介・予約	<手術日>
新患外来	薬師寺 孝 紹介・予約		柴野正康 紹介・予約	交代制 紹介・予約	
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 木村将典 倉持真理子 第1, 3, 5週のみ、紹介・予約 紹介・予約 紹介・予約	稲川元明 倉持真理子 紹介・予約 紹介・予約	稲川元明 木村将典 倉持真理子 紹介・予約 紹介・予約 紹介・予約	稲川元明 木村将典 紹介・予約 紹介・予約	稲川元明 倉持真理子 紹介・予約 紹介・予約

() の医師は非常勤です。

令和4年5月1日現在

3 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

4 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》

FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

足のユビ、開きますか？

COLUMN

院長閑話

vol.14



病院長 小川 哲史

今年は3年ぶりに移動制限のない大型連休でした。しかし新型コロナウイルス感染症は高止まり状態から再拡大が懸念され、またロシアのウクライナ侵攻も長期化しそうです。さらに知床遊覧船の事故など悪いニュースが多い中、非常に興味深い調査結果が医学雑誌に掲載されました*ので紹介します。

突然ですが、あなたの足のユビは開きますか？開くのが普通なのか、どんな人が開くのか、また訓練すれば開くようになるのか…？そんな疑問を解決すべく(?)大規模な調査を行った先生がいます。大阪大学 国際医工情報センターの特任教授 井上善文先生です。井上先生は静脈栄養をはじめ栄養・代謝全般に精通した消化器外科医で、研究のみならず実際の臨床現場での適切な栄養療法の普及に長年取り組まれています。栄養分野ではまさに日本のリーダー、みんなが師と仰ぐ偉大な先生です。医師向けの本ばかりでなく、全ての医療者や一般向けの本も多数あります。この調査からもわかるように非常に発想の豊かな先生ですので、是非一読をお勧めします。

さて、ユビの話です。この調査は井上先生が全国の知人を通して2020年までに行った9,016名のアンケート結果をまとめたものです。検討した項目は、足ユビが開くか否か、性別、年齢、地域差、開いた時期、さらに雪国育ちか、スポーツ歴など、かなり詳細で多岐な検討です。

その解析結果ですが、「足ユビが開く」人は、①全体で約8割の人が開く②女性(80%)は男性(75%)より多い③年齢による差は明らかではないが、加齢により開かなくなる可能性がある④地域差はない⑤雪国育ちに多いとは言えない⑥スポーツ歴のある人(79%)は、無い人(73%)より多く、特に体操やダンス、ヨガ、武道をしている人に多い⑦開いた時期は、大部分が子供の頃だが訓練で開くようになった人も多くいる。

それでは「足ユビを開いて、握む、踏ん張る」と有利な人、また場面はどんな時か。今回の結果からは、雪道を歩く程度の日常生活には必要ないが、柔道やレスリングなどの競技や、バレエやダンスなどでは足ユビが開く利点がありそうです。また男性に比べ女性に多いのは、女性の方が地に足がついている人が多いことと関連している(!?)。また、サルの足ユビは手に近いくらい動かし、たぶん縄文人も自由自在に動かせるとされるし、「足ユビが開かない」ことは人類の進化の結果と言えるかもしれません。

私の場合は子供の頃から両足とも開き、足ユビじゃんけんなども出来ましたが、2年ほど前に草刈り機で右足内側の踝の下を怪我して、その際、右足底神経が切れました。手術で縫合してもらいましたが、それ以来どんなに頑張っても右足のユビは上下は動くが左右は動きません。ちょっと寂しいですが左右の足ユビの機能(?)が違って特に支障なく暮らしています。

ちなみに、昔、E.H.エリックというタレントがいて、耳を動かす芸をしていました。耳を動かせる人は1,000人に1人くらいいるそうですが、足ユビを動かす筋肉と違い耳を動かす筋肉である耳介筋は、虫垂や尾骶骨などと同様に痕跡器官とされているので、どんなに努力しても動かすのは難しいでしょうね。

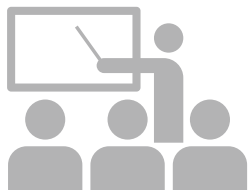
【引用文献】

*井上善文：足のユビ、開きますか？ -9,016人の調査結果より-。Med Nutr PEN Lead 6: 70-82, 2022 (5月13日)

INFORMATION

行事などのお知らせ

お気軽に
ご参加ください



●地域連携症例検討会

『泌尿器科領域疾患の 診断と治療の連携』

日時：2022年6月23日(木)

18:45~20:00

演者：泌尿器科部長 柴田 康博

泌尿器科部長 井上 雅晴

対象：医療従事者

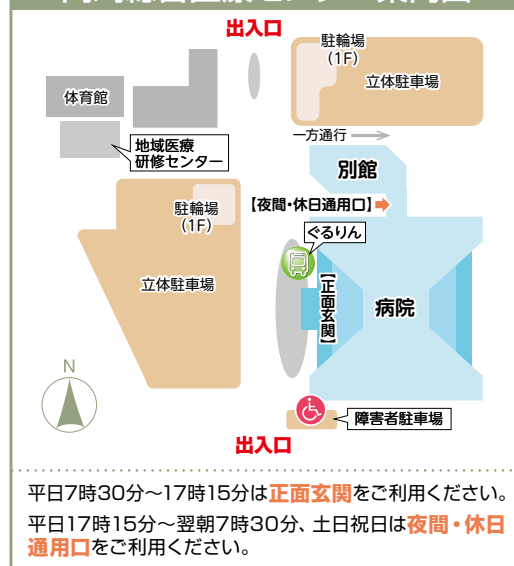
高崎総合医療センターよりWEB配信

生涯教育講座1単位予定

※事前登録必要



高崎総合医療センター案内図



平日7時30分~17時15分は**正面玄関**をご利用ください。
平日17時15分~翌朝7時30分、土日祝日は**夜間・休日通用口**をご利用ください。

編集室より

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)



独立行政法人・国立病院機構

高崎総合医療センター